

『苗場山』

【天空の楽園・苗場山】

《苗場山この美しい自然をいつまでも》

1 苗場山とは

- ・ 上信越高原国立公園 特別保護区
- ・ 標 高 2145.3m
- ・ 日本百名山（深田久弥選定）
- ・ 日本花の百名山

- ・ 江戸時代の鈴木牧之（湯沢町塩沢）により、著書「北越雪譜」に「絶頂一里、千勝万景」と絶賛されています。登頂は1811年（文化8年）

- ・ 日本の「テーブルマウンテン」
「テーブルマウンテン」とは、南アメリカのギニア高地（ブラジル・ベネズエラ・ガイアナ等6か国にまたがる地域）に100を超える数が存在します。生成の仕方は異なりますが、形は同じです。
このような山頂は非常に珍しく、知る限り日本では他に見ることは無いと思っております。

- ・ 山頂は30万年前に形成され4平方キロ（600ha余）の台地上で、苗場山火山が噴火して流れた溶岩台地です。
北・東・西側は急峻な崖で、南西方面に向かってなだらかに傾斜しており、3段になっています。ここは第Ⅳ期の溶岩台地とされており1,800m～山頂の間には多くの池塘が散在しています。
なお、苗場山の噴火口は秋山郷側にあり、現在噴火口は浸食により形は見られません。

- ・ 山頂は溶岩台地上に永年にわたって形成された高層湿原に覆われ、泥炭化した植物（ミズゴケ等）の遺骸は場所によっては数十cm～1m程にもなっています。
（高地で冷涼な気候の為植物が腐らず、厳しい環境の為1年に1mmにも満たない量で堆積しています。）
数千年前から形成が始まったと考えられています。

- ・ 台地上には無数の「池塘」（数百とも1千余ともいわれています）が存在し、深さは殆んど3～40cm程度ですが、50～150cm程の所も見られます。
水質は「弱酸性」です。
池塘の中には水が涸れ草地化又はされつつある場所も有ります。

そして一部には乾燥化が始まっており、笹類が勢力を増している場所が見受けられます。

- ・高層湿原には、初春から晩秋まで多くの湿原性高山植物が繁茂し、知る限りでは百種類余を数える事が出来ますが、もっともっと多くの種類があるようです。【苗場山の花】参照

それらが「天空の楽園」を華やかに彩ってくれています。

また、ウグイス・カッコウ・ホシガラス等の鳥類の囀りが心を癒してくれます。以前イワツバメが沢山春から秋にかけ見られましたが、山頂ヒュッテを新築してから見られなくなりました。(23年前)

両生類のモリアオガエル(シュレーゲルアオガエル?)の卵塊が池塘の縁の草むらに産みつけられており、独特の鳴き声にも趣が有ります。

- ・地質が泥炭層のため肥料分が少ない事(貧養状態)が原因か、多くの高山植物は毎年開花の数に変化が有ります。

特に大型の高山植物(草本科・木本科に関わらず)は平均数年に一度だけ多くの株が開花しますが、それ以外の年は皆無に等しいかわずかの開花状況です。

【苗場山の代表的な花の開花状況】(調査者 飯塚英春)を参照

サイクルもまちまちとなっていますので主原因は謎です。

- ・苗場山頂の池塘は田んぼのように見えることから「神の苗代田」とも呼ばれ、山頂には「伊米(イメ)神社」が祀られています。「苗場信仰」として秋山郷小赤沢集落には「苗場神社」が祀られています。6月1日には山開きがこの神社前で執り行われます。(苗場山・鳥甲山・佐武流山3山の山開き)

2 登山道

- ① 小赤沢ルート (一般的) (長野県側)
- ② 袈川ルート (一般的) (新潟県湯沢側)
- ③ 和山ルート
- ④ 赤湯ルート (昌次新道コース) (本橋ルート)
- ⑤ 佐武流山ルート (健脚者コースです。途中幕営要・水補給難)

途中ルートを西側に入り込んだ所に「天狗の庭」があります。山頂の湿原とは標高が低いいため異なった雰囲気のある場所です。

ルートは無く、行くには難しい所です。

- ⑥ 小松原ルート 途中に小松原湿原があります。見倉集落付近に下山しますが、交通が不便です。(駐車場有)

- ⑦ 大赤沢ルート（一昨年から廃道となりました）

3 小赤沢ルートの説明

- ① 3合目に駐車場（数十台可能） トイレ有り（6月～11月）
② 山頂に苗場山頂ヒュッテ（苗場山自然体験交流センター）有り
（営業 6月1日から11月の第4土曜日まで）

③ 行程（小赤沢ルート）

- ・0合目（集落）～3合目駐車場 1時間30分（現在歩く登山者が少ないので道が荒れているかも）
- ・3合目から山頂 約3時間30分～4時間
（合目毎に標識有り・次の合目までの距離と時間の表示有り）

○危険箇所

鎖場が数か所ありますが、難しさはありません。

（秋山小学校の集団登山で1～6年生の児童が日帰り登山をしました。）

○注意事項

水場が4合目・6合目下に有りますが、飲み水には不適です。

登山道の至る所に泥濘（ぬかるみ）が有ります。特に雨の後では注意が必要です。

（地元の皆さんは「ゴム長靴」が常用です。）

- ・7合目は鎖場を登った所にあり、見晴らしが素晴らしい所です。（小休憩に良いです。）
- ・8合目の標識から数分で山頂の一端（つぼ場）に出ます。
木道のテラスが整備されています。周辺が一望出来ますので休憩には最適です。
- ・ここからは周辺の景色や高山植物の花等見ながら山頂に向かいます。
木道が整備されていますので踏み外さない様に進んでください。（途中傷んだ木道の架け替え中の個所が有ります。）
- ・9合目から林に入りごつごつした岩の道がしばらく続きます。雨・霜・雪の時には滑りますので注意が必要です。
- ・林を抜けてから佐武流コースの分岐がありますが、そちらに50m程行所

に「伊米神社」があります。

- ・山頂と苗場山頂ヒュッテ間は2分程離れています。
木道のテラスが山頂ヒュッテ前と少し離れた場所に設置されています。
休憩場所として利用できます。

4 台上からの景色

- ・南に志賀高原方面の佐武流山・岩菅山・横手山・白根山・浅間山・白砂山
(富士山が見えた・見られないとの論争がありました。)
- ・西に北アルプスの槍・穂高連峰から白馬三山、手前に黒姫山・飯縄山・戸隠山・妙高山・斑尾山・鳥甲山等々 もちろん関田山脈も。
- ・北には新潟県側の弥彦山・米山が望まれます。
天候が良い日には佐渡島や能登半島までも遠望できます。
(日本海に浮かぶ漁火を見た人がいたようです)
- ・東には谷川岳・平標山・皇海山・赤城山等々が望まれ、谷を挟んだ峰の頂に鉄塔が見えますが、東斜面が苗場スキー場です。
(苗場山と苗場スキー場と混同されていますが、タケノコ山の東斜面を開発したのが苗場スキー場です)

《見どころ》

- ・台上での見所以外に祓川コース側に「ヒカリゴケ」が見られる所があります。
また、雲尾坂の鞍部付近のお花畑に山頂とは異なった高山植物が見られます。
(「苗場山の花」参照)
- ・鞍部を少し登った所に「雷清水」があり凄く冷たい水が湧いています。
今まで干ばつ・猛暑の時でも枯れた事は無いようです。
- ・台上での夕焼け・夜の星々・ご来迎の景色も素晴らしいです。
もちろん雨や曇りの日では見られませんが。
苗場山は日本海に近いせいか、霧がかかりやすいです。
- ・苗場山は日帰り登山も出来ますが、お勧めは苗場山頂ヒュッテで一泊し、ゆっくりと「天空の楽園・苗場山」を堪能して頂ければ幸いです。

5 苗場山頂ヒュッテ

- ・営業 6月1日から11月の第4土曜日まで。
- ・通常 80名収容(今年の新型コロナウイルス時には20名収容でした。今年はまだ決まってはいません。)
- ・個室はありません。蚕だな方式です。
- ・夕食のカレーがおいしいと評判です。
お代わり自由です(ご飯・おかず等々)。

6 その他

- ◎高山植物の花は、春から秋まで見られますが、
春の花の見頃は、6月下旬から7月中旬頃が一番多くの開花が見られます。
- ◎秋の紅葉は、9月下旬頃から始まり10月初旬頃までです。(霜や初雪の状況により変わります)
- ◎6月下旬頃まで台上の登山道(木道)と周辺に多くの残雪があります
また、6月中旬頃までは5合目付近から残雪の上を歩く事になります。
オオシラビソ等の大木に赤い目印や赤いテープが付いています。
ガスに撒かれた時に、登山道が判らなくなりますので注意が必要です。
- ◎苗場山では**幕営禁止**となっております。

7 飯塚 英春 経歴

写真関係 公益社団法人日本写真協会会員
一般社団法人日本現代写真家協会（JMPA）会員
苗場山麓ジオパーク写真コンテスト審査員

その他 高山植物等保護指導員
自然観察インストラクター
苗場山観光株式会社 顧問

- 1944 長野県飯山市（旧常盤村）に生まれる
- 1993 苗場山登山 100 回を記念し、個展「苗場山」を秋山郷にて開催
- 1995 栄村観光協会より観光功績賞を受賞
栄村より文化功績賞を受賞
- 2004 苗場山登山 200 回を記念し、
写真集『秘境・秋山郷 天空の楽園・苗場山』を上梓
個展を栄村（以後 2 回）・長野にて開催
- 2009 秋山小学校 50 周年記念事業実行員会より感謝状受賞
- 2016 苗場山登山 300 回を記念し、
写真集『秘境秋山郷・マタギの里 天空の楽園苗場山』を上梓
- 2018 個展を長野市芸術館にて開催
個展を上田市美術館（サントミュージウゼ）にて開催
個展を津南町「農と縄文体験実習館《なじよもん》」にて開催
- 2019 栄村より文化功績賞を受賞